

令和3年度メトロITビジネスカレッジ学校関係者評価委員会 出席者一覧

実施日：令和4年4月26日（火）

※順不同

1. 評価委員

【業界関係者】

佐藤 康彦 様 システムファイブ株式会社 代表取締役

松山 賢二郎 様 日本紙工印刷株式会社 代表取締役社長

【教育関係者】

村元 宏行 様 活水女子大学 准教授

【卒業生】

口木 陽平 様 NBC 情報システム株式会社

2. 学校運営関係者

【株式会社メトロコンピュータサービス】

川崎 孝 代表取締役

小濱 孝行 メトロITビジネスカレッジ校長

以上

令和3年度メトロITビジネスカレッジ学校関係者評価委員会 議事録

1. 実施日時 令和4年4月26日(火) 10:00~11:30

2. 実施場所 株式会社メトロコンピュータサービス8階応接室

3. 参加者 別紙「出席者一覧」参照

4. 学校評価委員会議事内容

(1) 学生の状況

令和3年度の学生数(4月当初)

1年47名、2年57名、3年5名、計109名

令和3年度卒業生55名(4名退学)

令和4年度の学生数

1年61名、2年41名、3年2名、計104名

(2) 休学退学について

1年次の休学が4名、退学3名だった

退学理由は体調不良が多いが、きっかけは勉強についていけないことが多い。

対策の一つとして、放課後15:30以降に残って勉強できる環境を学校として確保するため準備を進めている。(アフタークラス制度)

(3) 令和4年度からの新規導入事項

・アフタークラス設置による学生支援

自由に残すのでは無く、勉強するための環境を作って誘導する必要がある。担任と協力して使いやすい環境を準備したい。

隣接ビルの2階を利用し、図書コーナーも拡充して準備する。

・メンタルヘルスの講座開催

メンタルヘルストレーナーの授業をオンラインで開催予定

・情報処理技術者試験の制度改正に伴う準備

令和5年度より大きく変更

①基本情報技術者試験が年2回から通年実施へ

②午前については出題数が80問150分だったのが、60問で90分に変更。

③午後は20問に変更(大問8問ではなく、中間20問)になる。

※アルゴリズムとセキュリティのみの試験になる。

(4) 学校自己評価の結果について

- ・いくつか下がっているものもあるが去年よりは平均値は上がっている。
※レクレーションの回数に関して等、一部の項目のみが若干下がっているのみであり、全体的には問題ない。
- ・令和2年度はコロナの影響で分散登校も行い、授業時間数が減少した上に、試験の中止等もあり希望する試験を受験する機会が減少したことで「目的の資格試験を取得できなかった」と考えている卒業生が多かったのではないかと考えている。
- ・就職希望者は、ほぼ就職させることができたので、就職に関する評価が向上したのではないかと考えている。
※学校としては、希望の職種で就職できなかった学生を減少させるための継続努力が必要だと考えている。
- ・閲覧用図書のコナーについては、古い図書を大幅に入れ替え、利用率を増加させるような取り組みを行う。(アフターフォロー用の部屋に設置するようにする)
- ・「人間教育(マナー・あいさつ等)」については、講師評価が上昇しているが、日ごろから、受付で体温を確認する際に、学生と対話をしており、その点を活用して指導できていたことは良かった。
- ・全体的に講師評価が昨年よりも低下しているが、前述の就職先の問題、検定試験の合格率を更に上昇させるための反省の面もあり、問題意識を持って取り組むことができている。
- ・昨年度は「全員」ITの基礎学習「のみ」から始めた。そのため、学生のモチベーションも上がらなかったのではないかと分析している。そのため、今年度は最初から、各専攻の基礎教育も4月から開催しており、学生のモチベーションを維持したまま授業運営できるように変更している。
- ・OJT自体は動くことができていない状況。受け入れ先を開拓できていない。
早期入社については、出しっぱなしになるのではなく、入社後も定期的に連絡を取り合ってフォローを行うようにしている。
- ・「就職指導部」を設置し、就職に関して情報共有を行い、キャリアコンサルタントの資格を有した講師も含め、就職先に近い実習先を一つでも多く確保していき

い、今年からはメトロコンピュータサービスでもOJTを行うようにしている。

(5) 資格取得の状況について

合格者が多い検定試験はマイクロソフトオフィス関連のものになるが、全員を合格させることができていない。このような試験に合格できなかった学生が、退学したり、休学したりすることになるケースが多い。そのため、このような学生をいかにして減らしていくかが大切だと考えている。

クラスにおける全体指導だけでなく、アフタークラス等を活用した個別フォローも実施することで、資格取得率を向上させたい。

(6) 就職について

内定率は上昇しているが、必ずしも希望する職種で就職できている訳ではない。

企業開拓・OJTの実施・プラスアルファ教育（デザイン+動画編集等）を継続して行っていくことで、改善していく必要がある。

※内定辞退の増加について

大学生同様に複数企業の受験を並行して行っているため、内定辞退する学生が増えてきている。

→状況から考えると仕方ない点もあるが、学生・企業と連携してできるだけ、双方に不利益が生じないように連絡を密にやり取りを行っていく。

(7) 次回の開催について

次回はコロナの状況を見ながら、10月の半ば頃、就職に関する状況報告という形で開催できるように準備したい。